

主催 第1回全国高校生1億円プロジェクト実行委員会(2022年)  
後援 青森県教育委員会、五所川原市、鱈ヶ沢町、企業組合でる・そーれ、  
特定非営利活動法人 十和田 NPO 子どもセンター・ハピたの  
パンフレット制作 青森県立黒石高等学校情報デザイン科、株式会社アイブレーション  
事務局 一般社団法人 未来の大人応援プロジェクト

SBPに関する詳しい情報はWebサイトをご覧ください。

<https://mirai-otona.jp> **未来の大人** で検索 お問い合わせ [info@mirai-otona.jp](mailto:info@mirai-otona.jp)



# 第1回全国高校生 1億円プロジェクト 2022

~未来の大人が未来を創る!~  
in青森



## 全国の高校生のつながりと絆

第1回「全国高校生1億円プロジェクト」の実施にあたり、実行委員を代表して御挨拶申し上げます。

SBP活動に取り組む高校は全国各地にあり、それぞれ、高校が地域・行政と連携して活動を進めています。一昨年(2020年)、未来の大人応援プロジェクト代表の岸川政之氏よりこの『億プロ』のお話を頂き、記念すべき最初の幹事校を鱒ヶ沢高校が務めることになりました。昨年は、コロナ禍で予定していたことが中止となり、第0回という形でセレクトギフトとパンフレットの製作までを行いました。

今回、改めて第1回として8月に青森県五所川原市で行われる<sup>たちねびた</sup>立佞武多への出店、全国の高校生との交流会開催を目指して進めてきました。

他県の魅力的なSBP活動をしている高校生と交流することができるチャンスであり、楽しみな反面、わが校の部員は7名と少なく、開催県として運営は難しい状況でした。青森県内の高校へ協働を呼びかけたところ、十和田西高校、黒石高校、五所川原第一高校、五所川原商業高校、青森中央高校、七戸高校が参加を表明してくれました。

今回、協力していただいた団体への返礼品として、参加する高校で各県の魅力ある商品を集めたセレクトギフトを用意しました。テーマは、『旅』。各県から『旅』を味わうことができるギフトを揃えました。工夫を凝らした魅力ある商品を楽しんでいただけると幸いです。

コロナ禍の中、Web会議を通じて各校とアイデアを出し合い、議論してきました。昨年、先輩方ができなかった悔しさを胸に、今後もより良いプロジェクトを企画・運営しながら活動を続けていきます。

最後に、『億プロ』の実施にあたり、御協力、御尽力いただきました多くの方々に感謝をいたします。今後とも私たち“未来の大人たち”の応援をお願いします。そして、全国の高校生の仲間たち、これからも一緒に盛り上げていきましょう！

第1回全国高校生1億円プロジェクト実行委員会 委員長 後藤 悠太



## SBPとは

SBPは「Social Business Project (ソーシャルビジネスプロジェクト)」の略で、地域の課題をビジネスの手法を用いて解決していこうという取り組みです。具体的には高校生が地域資源(ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業等)と交流し、見直し、活用して“まちづくり”や“ビジネス”を提案していく、そしてその取組を地域で応援し支えていこうというものです。

SBPは、三重県多気町にある相可高等学校食物調理科が運営する高校生レストラン「まごの店」などを先進事例に、2013年4月に三重県立南伊勢高等学校南勢校舎で最初のSBPが立ち上がりました。この地域に根ざした取り組みが全国に広がっており、全国高校生SBP交流フェアにもこれまでに80以上の団体や高校が参加しています。

## 主催

第1回全国高校生1億円プロジェクト実行委員会(2022年)

	氏名	学年	所属
委員長	後藤 悠太	3年	青森県立鱒ヶ沢高等学校 鱒ヶ沢高校 SBP 研究会
委員	見上 航太	3年	北海道留萌高等学校 商業研究会
委員	松野 ちゆき	3年	青森県立木造高等学校 ガシャモクチーム
委員	濱田 純音	3年	青森県立青森中央高等学校 あすなろクラブ
委員	福島 芽依	3年	五所川原第一高等学校 五一高じゃわめき隊
委員	長谷川さくら	3年	五所川原商業高等学校 商業クラブ
委員	松田 那希	3年	青森県立七戸高等学校 シャキコロ班
委員	栗林 莉奈	3年	青森県立黒石高等学校 情報デザイン科
委員	中河原 玲乃	3年	青森県立十和田西高等学校 十西!観光科!!
委員	末野 華	3年	福島県立小名浜海星高等学校 商業部
委員	坂本 りつ	2年	浜松学芸中学校・高等学校 社会科学部地域調査班
委員	前田 蓮	3年	愛知県立高浜高等学校 地域活動部 SBP 班
委員	島田 美咲	3年	三重県立相可高等学校 食物調理科 調理クラブ
委員	小泉 奈々	3年	三重県立飯南高等学校 応援団 Circle
委員	中川 恋碧	3年	三重県立南伊勢高等学校南勢校舎 南伊勢高校南勢校舎 SBP
委員	金山 創太	3年	熊本県立天草拓心高等学校 天草拓心高校 SBP 部

## 後援

青森県教育委員会、五所川原市、鱒ヶ沢町、企業組合でる・そーれ、特定非営利活動法人 十和田 NPO 子どもセンター・ハビタの

## 協力

株式会社アイブレーン

## 事務局

一般社団法人未来の大人応援プロジェクト





# 全国高校生1億円プロジェクト(億フロ)とは？



## 全国高校生1億円プロジェクト(億フロ)を立ち上げるにあたって

現在、SBP(ソーシャルビジネスプロジェクト)に取り組む高校が全国で80校以上と増えています。

この文部科学省をはじめとする多くの行政や団体、企業の方々の応援も受けているSBPは、地域の高校、行政、民間などが互いに協働して、地域の良さを知り、地域の人材を育て、地域を盛り上げています。今回はさらに、組織の垣根を越え、**全国各地のSBPが連携することで全国規模での取組に企画・参加できる仕組み**を作ることができ、さらなる高校生の成長とそれに伴う地域の活性化を促せると捉えています。



### 目的

#### 『SBPで未来を元気に!』

取組の披露・交流するステージを**高校生自ら作り、全国の高校生が集まれる仕組み**を作る。

そして、この取組を人材育成・地域活性化のモデルとして構築する。

取組を検討していく  
上でのポイント

- ① 使命感・社会的意義(開催場所等を社会的背景も踏まえて設定)
- ② わくわく感(今までで出来たらいいなと思っていたコラボ)

### 仕組み

基本的にはこれまでのSBPの手法と同じ

- ① 地域の課題を考え、取組を企画する
- ② 自分たちで活動費を捻出
- ③ 確保できた資金をもって取組を実行

これを全国規模で! 議論はweb会議

やることは大きく2つ

- 全国を巻き込んだ企画の実施
- 全国の特産品等を入れたセレクトギフトの作成

【1年目】  
プロジェクトの企画

1年目にベースとなる企画を構築。2~4年目でブラッシュアップしながら実行。4年1セット。

【2~4年目】  
資金確保  
プロジェクトの実行

各立場の役割

【プレイヤー】  
全国の高校生

プロジェクトの企画・運営ギフトの企画・受注

【サポート】

高校のある行政・企業・地域等

活動が円滑に進むための支援、  
その他事務局と連携した各種調整

【事務局】

(一社)未来の大人応援プロジェクト

売上や経費の管理や事務的手続き  
全体のプロデュース

### 将来的な展開

参加都道府県(高校数)や取組の規模などスモールスタートで徐々に広げる

【2021年】  
7道県の参加

【目標】  
47都道府県

『1億円』は、いつか1億円規模の大きなプロジェクトにも取組もうという1つの目標で、金銭的な目標としない。

取組を進める上でのポイント

目標に満たなくても「現状でできることは何か」or「足りない部分を補うにはどうすればいいか」を考える

## 取組の企画・準備の流れ

### ①全国の高校に参加校を募集!

SBPで繋がる全国の高校を中心に呼びかけ!



### ②Web会議を通じて全国の高校生で議論!

「全国の高校生での企画」&「全国版セレクトギフト」などについて、定期的に行委員をを開催!

県知事、教育長、市長などへPR、  
プレスリリース!

多くの一般の方に広く周知!



同じ県の高校でのweb会議や近い高校は  
対面で意見交換・交流!

意見交換や交流をしながら県内での意見をまとめる!



各高校の特徴を活かしながら  
役割分担し作業!

当日の準備、パンフレット用の原稿・動画・デザイン制作、オリジナル商品の開発など!



運営資金の確保

完成したセレクトギフト・パンフレットは協力していただいた方々のもとへお届け!

※当面は事務局で費用負担、将来的に資金確保の仕組みを構築



### ③取組当日の運営

全国の高校生が集結! 毎年どのようなことをするかは高校生の議論次第!



# 今回の億プロの概要

## 【幻となった2021年～『第0回』億プロ～】

本来、2021年に第1回の2年目として企画実施の予定でweb会議での検討や手配等進めていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえ、青森県の五所川原立佞武多祭りが中止となり、メインである高校生ブースの出店や交流会が出来なくなってしまいました。

しかし、それまでの検討を次回以降に活かすべく、全国版セレクトギフトやパンフレットの検討中であった部分の完成までを一区切りとし、『第0回』として次年度の開催に向けた課題の検証などを充てることとしました。

昨年の幻の2021は『第0回』として今年の開催を素晴らしいものとするための布石となる貴重な回となりました。

### 五所川原立佞武多

第1回(2020~2024)				
2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
企画 (1年目/4年)	コロナで中止 (第0回)	実行 (2年目/4年)	実行 (3年目/4年)	実行 (4年目/4年)

自走

## 【今回の億プロの目玉①】

### 五所川原立佞武多祭りでの高校生ブースの出展・交流会の開催

毎年8月上旬に開催される青森県の五所川原立佞武多祭りにて全国から高校生が集合しブースを出展!

1日限定で約45mに渡る高校生ブースを開設! そのうち6校がSの絆焼きを出展!  
高校生が企画する各高校の交流会も実施!

**日程** 2022年8月8日(月) (祭り自体は8月4日(木)~8日(月))

**場所** 五所川原市役所駐車場

**出展方法** 各高校が3m程度のブースを構え、商品の販売や展示など各高校が工夫して開設。

### ■各高校の出展内容

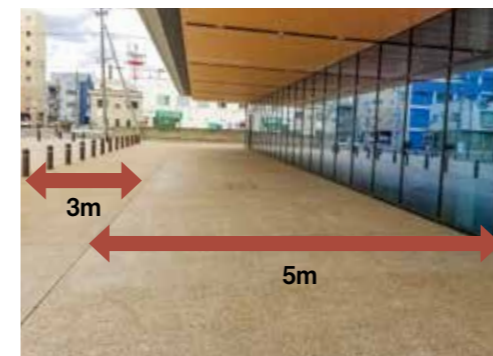
1	北海道留萌高等学校	Sの絆焼き(かずもちゃん焼き)、缶バッジ・木製コースター、とばせん
2,14	青森県立鱒ヶ沢高等学校	Sの絆焼き(力士くんお焼き)、浜松学芸高校とダンスコラボ
3	三重県立相可高等学校	Sの絆焼き
4	三重県立南伊勢高等学校南勢校舎	Sの絆焼き(タイミー焼き)
5	愛知県立高浜高等学校	Sの絆焼き(タツヲ焼き)
6	青森県立七戸高等学校	シャキコロ(長芋が入ったコロッケ)
7	福島県立小名浜海星高等学校	OKわたがし(フルーツわたあめ)、オーガニックコットンのタオルハンカチ、焼き菓子、どら焼き等
8	五所川原商業高等学校	Reんごのストロー、りんごジュース・りんごチップスなど(アグリコミュニケーションズ津軽)、立佞武多の廃材を利用した商品(団扇・ポチ袋)
9	五所川原第一高等学校	立佞武多の廃材を使用したしおり
10	青森県立十和田西高等学校	ごぼうドレッシング(ハビたのかふえ)、フルーツ加工品(中こう果樹園)
11	三重県立飯南高等学校	愛しくないキャンドル、木の手帳等の販売
12	青森県立木造高等学校	幻の水草ガシャモクの保全活動の紹介
13	浜松学芸中学校・高等学校	ポスター展示・フォトブック販売
14	青森県立青森中央高等学校	浴衣パフォーマンスステージ
14	青森県立黒石高等学校	他校のサポート



今回のコース  
(0.9km)  
従来のコース  
(1.2km)



## ブースのレイアウト





## 今回の億プロの概要

### 【今回の億プロの目玉②】

#### 全国版セレクトギフトの製作

##### ■製作の進め方

- ①商品選びのテーマを設定  
⇒ 今回のテーマ「旅」：絆や結びなどの意味も含み、全国各地の高校が繋がるイメージ
- ②都道府県ごとに商品を選出  
⇒ 1つの県に複数高校がある場合は高校同士で協議して選出(予算内であれば2種類でも可)
- ③各高校が分担して作業  
⇒ 商品の紹介文や写真など素材の作成、パッケージデザイン(黒石高校)など
- ④今回は各高校や協力していただいた方々への配布  
⇒ 今回は30個製作

##### ■全国版セレクトギフトの基本的な考え方

- ・協賛金等の返礼品として贈呈。
- ・コンセプトや商品の選定、協賛等の募集、配達まで一貫して高校生が協力しながら行うよう検討。
- ・必要数のみ製作し、在庫は抱えないものとする。
- ・商品管理、協賛金等のやりとりなどは事務局で行う。
- ・Web会議で全体での議論を進め、各都道府県の高校同士で協力しながら作成していく。



### 「セレクトギフト」とは？

- ・SBP発祥の三重県立南伊勢高校南勢校舎が、地域の特産品等とともに町への愛を込めた「ふるさとからのラブレター」を入れた詰め合わせギフト「南伊勢高校SBPセレクトギフト」の販売をする取組を始めました。
- ・商品の選定から業者との交渉、詰め合わせ作業、プレゼン・販売まで、一貫して高校生で行います。
- ・売上はSBPの活動費に充て、継続的に活動していくための仕組みの1つとして、現在は全国に広がっています。
- ・一連の取組の中で、企画検討・プレゼンでの表現力等の向上やお金の流れの仕組みの理解など社会性の向上につながっています。



### 「旅」をテーマに各高校で選定した商品 (詳細はP13~)

#### 北海道 るるもっペーず商品



#### 青森県 津軽鉄道ストーブ列車券(硬券) 酒粕バスボム こぎん刺し・栞



#### 福島県 Hand towel-Natural



#### 愛知県 絞りまんまる巾着



#### 三重県 お香 みず 五十鈴川、 入浴剤 伊勢のみそぎ湯



#### 熊本県 天草更紗 ふきん きじ馬箸置き





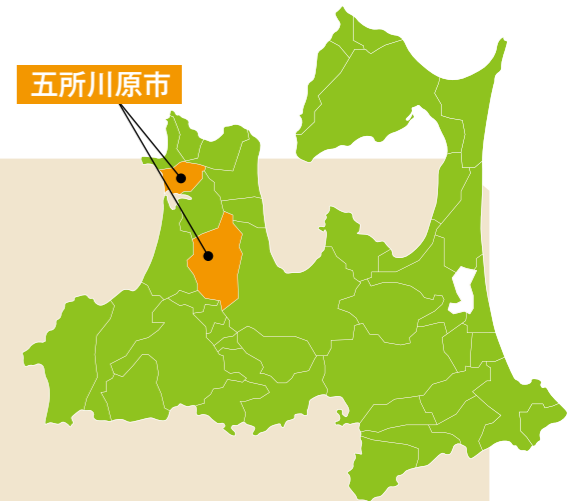
## 五所川原立佞武多祭りでの集合～解散のスケジュール

令和4年8月7日(日)	
各自出発	<b>■前日入り</b> ・新幹線 【青森県】十和田西高校 【福島県】小名浜海星高校 【愛知県】高浜高校 【三重県】相可高校、南伊勢高校南勢校舎、飯南高校 ・車      【北海道】留萌高校 【青森県】五所川原商業高校 【静岡県】浜松学芸高校
16:00～17:30	新幹線利用の高校は新青森駅到着後バスにて移動(新青森駅⇒鯉ヶ沢キャンプパーク)
18:30～	<b>前夜祭(夕食会)</b> 会場:鯉ヶ沢キャンプパーク 鯉ヶ沢高校・鯉ヶ沢町にておもてなし
20:30～	自由時間

令和4年8月8日(月)	
07:30～08:30	朝食
09:15～10:00	前泊した高校はバス等にて移動(鯉ヶ沢キャンプパーク⇒ELM(五所川原市))
10:30 (受付10:00から)	<b>交流会会場に全参加者集合</b> 会場:ELM(複合型大型ショッピングセンター エルム) <b>■当日入り</b> 【青森県】鯉ヶ沢高校、黒石高校、五所川原第一高校、青森中央高校、七戸高校、木造高校
10:30～13:10	<b>交流会(昼食含む)</b> 生徒にて企画・進行し、交流を深める(各生徒の情報交換(フリートーク)、ミニ講演会、立佞武多クイズ大会等)
13:10～13:30	参加者全員バス等にて移動(ELM⇒五所川原市役所)
13:30～15:30	会場準備
15:30～16:00	<b>オープニングセレモニー</b> 青森県教育委員会教育長 和嶋 延寿 様、五所川原市長 佐々木 孝昌 様よりご挨拶 全国版セレクトギフト、パンフレット贈呈
16:00～18:00	<b>ブース出展</b> ・販売・展示等 13ブース、ステージパフォーマンス(浴衣でダンス)
18:00～19:00	会場片付け
19:00～20:30	祭り見学(交代制で夕食)
20:30～21:00	集合、人数確認
21:00～21:45	後泊する高校はバスにて移動(五所川原市⇒鯉ヶ沢キャンプパーク)

令和4年8月9日(火)	
07:30～08:30	朝食
09:00～09:45	<b>振り返り・解散</b> ・新幹線 【青森県】十和田西高校 【福島県】小名浜海星高校 【愛知県】高浜高校 【三重県】相可高校、南伊勢高校南勢校舎、飯南高校 ・車      【北海道】留萌高校 【青森県】五所川原商業高校、七戸高校
09:45～11:15	新幹線利用の高校は新青森駅へバスにて移動(鯉ヶ沢キャンプパーク⇒新青森駅)

## 会場の青森県五所川原市の紹介



五所川原市長  
佐々木 孝昌

全国の高校生の皆さん、こんにちは。  
「第1回全国高校生1億円プロジェクト」が、県内外から多数の高校生の皆さんをお迎えして、当市で開催されることは大変喜ばしく、心から歓迎申し上げます。

本来であれば、昨年度が第1回の開催となる予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により延期となり、各校の生徒の皆さんが取り組んできたSBP活動を披露するブース出展や、交流会の開催は残念ながら中止となってしまいました。

この記念すべき第1回は、まさに1年越しの開催であり、3年ぶりの開催となる五所川原立佞武多とともに、大いに盛り上がるものと期待しております。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中でのイベント開催となりますが、若い皆さんの力でこの困難を乗り越え、これまで地域の課題解決のために積極的に取り組んできた成果を、思う存分発揮していただきたいと思います。

全国のSBPに取り組む高校生の皆さんが、ここ五所川原で、地域を越えた絆を深められますこと、そして、本プロジェクトへの参加を通して得た経験を、それぞれの地域の活性化に大いに役立てられますことを期待しています。

## 五所川原立佞武多

毎年8月4日から5日間開催され、高さ23m、重さ19tの大型ねぶた3台含む10数台のねぶたが市街地を運行し、多くの市民と観光客で賑わっています。

明治時代後期には、当時の豪商や大地主の富の象徴として、高さを誇るねぶたが作られ、その高さは約18～21mにまで及んでいました。しかし、大正時代に入り、電気(電線)の普及により、ねぶたは徐々に小型化していきます。(写真左)

平成5年に巨大ねぶたの設計図が発見され、これをきっかけに平成8年に約80年ぶりに復元し、「立佞武多」と命名されました。(写真中)

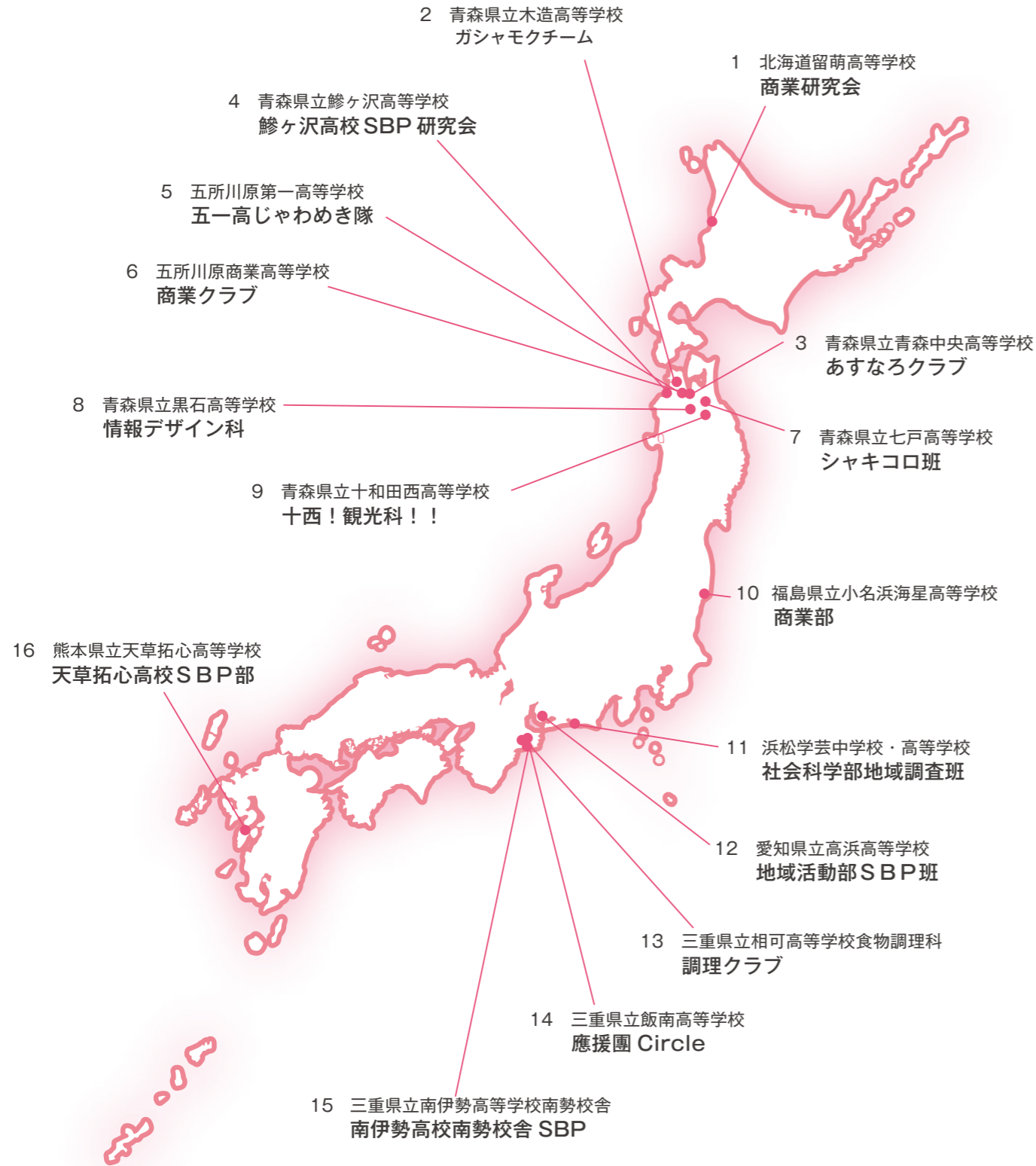
平成10年には、立佞武多の市街地運行を行うため、電線地中化などの整備を行い、立佞武多が市街を練り歩きました。平成16年には立佞武多を常時展示する「立佞武多の館」がオープンし、五所川原立佞武多は東北を代表する夏祭りのひとつとなっています。(写真右)





# 参加校 一覧

## 日本全国から 多くの高校生たちが参加!!



## 参加校一覧

参加団体・高等学校名	
1	北海道留萌高等学校 商業研究会
2	青森県立木造高等学校 ガシャモクチーム
3	青森県立青森中央高等学校 あすなるクラブ
4	青森県立鱒ヶ沢高等学校 鱒ヶ沢高校 SBP 研究会
5	五所川原第一高等学校 五一高じゃわめき隊
6	五所川原商業高等学校 商業クラブ
7	青森県立七戸高等学校 シャキコロ班
8	青森県立黒石高等学校 情報デザイン科
9	青森県立十和田西高等学校 十西!観光科!!
10	福島県立小名浜海星高等学校 商業部
11	浜松学芸中学校・高等学校 社会科学部地域調査班
12	愛知県立高浜高等学校 地域活動部 SBP 班
13	三重県立相可高等学校 食物調理科 調理クラブ
14	三重県立飯南高等学校 応援団 Circle
15	三重県立南伊勢高等学校南勢校舎 南伊勢高校南勢校舎 SBP
16	熊本県立天草拓心高等学校 天草拓心高校 SBP 部



北海道留萌高等学校  
商業研究会



青森県立木造高等学校  
ガシャモクチーム



青森県立青森中央高等学校  
あすなるクラブ



青森県立鱒ヶ沢高等学校  
鱒ヶ沢高校 SBP 研究会



五所川原第一高等学校  
五一高じゃわめき隊



五所川原商業高等学校  
商業クラブ



青森県立七戸高等学校  
シャキコロ班



青森県立黒石高等学校  
情報デザイン科



青森県立十和田西高等学校  
十西!観光科!!



福島県立小名浜海星高等学校  
商業部



浜松学芸中学校・高等学校  
社会科学部地域調査班



愛知県立高浜高等学校  
地域活動部 SBP 班



三重県立相可高等学校  
食物調理科 調理クラブ



三重県立飯南高等学校  
応援団 Circle



三重県立南伊勢高等学校南勢校舎  
南伊勢高校南勢校舎 SBP



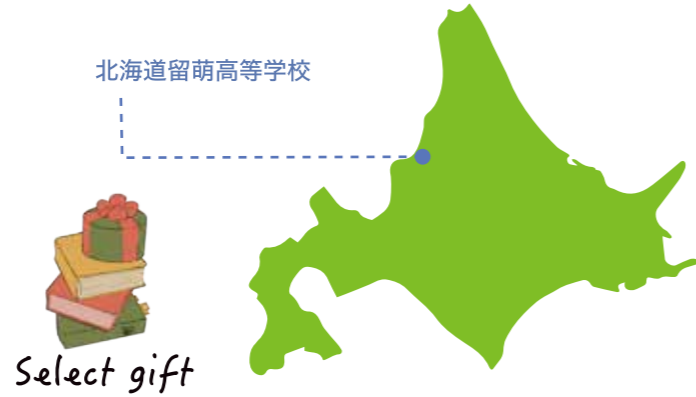
熊本県立天草拓心高等学校  
天草拓心高校 SBP 部



# 北海道



北海道留萌高等学校



Select gift

## るるもっぺらず商品

～萌えて留まる留萌を紡ぐ～

私たちは留萌の活性化のため、留萌の聖地化へむけてのアニメーション作成に取り組んでいます。

そのファーストステップとして、オリジナルキャラクターを創り、そのキャラクターを活用した4コマ漫画をつくっています。キャラクターは留萌に関係する食べ物がモチーフで、グループ名も留萌の地名をアイヌ語にした言葉から、「るるもっぺらず」としました。4コマ漫画に登場するキャラクターの知名度アップをかねて、キャラクターグッズを製造し、留萌の道の駅で販売しています。昨年の缶バッジにつき、今年は木製のコースターを作成しました。留萌は林業が盛んであること、留萌高校には、電気・建築科があることから、以前より留萌の木を使った商品を考えていました。電気・建築科によって、間伐材からコースターの原料を作成してもらい、商業研究会が商品化することで、オリジナリティの高い商品が完成したと考えています。

製造のために購入した機械は汎用性が高く、今後様々な木製商品を開発できると考えています。

今回は、缶バッジと木製コースターを商品として提供します。



School introduction



北海道留萌高等学校【商業研究会】

## 【北海道弁】

五所川原に来るにはゆるくなかったからこそ、かずもちゃん焼きはまてに焼いて、皆さんに喜んでもらうようけっばります。

## 【標準語】

五所川原に来るには、たいへんだったからこそ、かずもちゃん焼きは丁寧に焼いて、皆さんに喜んでもらうよう、がんばります。



億プロへの意気込み

## message

### 【留萌市長 応援メッセージ】

日頃より、留萌高校の皆さんには「かずもちゃん焼き」や「プロジェクションマッピング」などといった取組で、地域を盛り上げていただき大変感謝しております。

本年も参加される「全国高校生1億円プロジェクト」で全国の仲間と一致団結し、協力し合いながら1つの取組を成し遂げることは、皆さんにとって貴重な経験になるとともに、地域にも明るい話題を与えてくれるものと期待しております。

今後も様々なことに挑戦しながら切磋琢磨することで、留萌高校並びに全国の高校生の皆さんのさらなる成長を願っております。



留萌市長 中西俊司様

### 【協力事業者様 応援メッセージ】

留高の生徒は、地域活性化のため、地域の素材を活用した様々な商品開発を行っています。当社でも10年前に共同開発した「とばせん」は、留萌市内において現在も販売しています。地域のイベントに積極的に参加し、「かずもちゃん焼き」を販売するなど、留萌地域を盛り上げてくれる商業研究会の生徒の皆さんの活動を留萌の大人たちは応援しています。

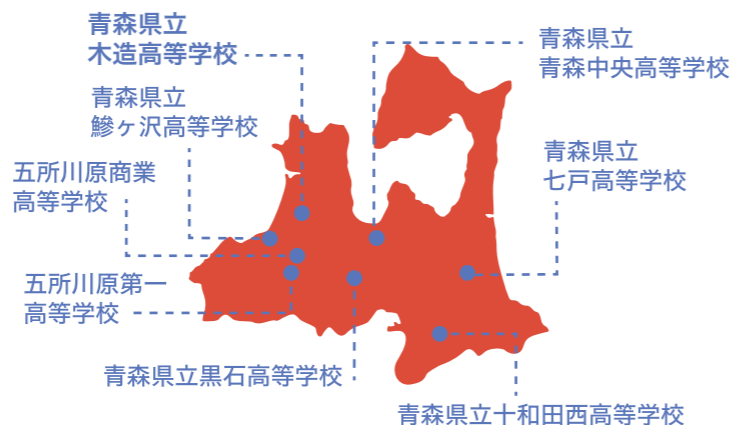
株式会社フタバ製麺 仲田隆彦様





# 青森県

参加校：青森県立鰯ヶ沢高等学校  
青森県立十和田西高等学校  
青森県立青森中央高等学校  
青森県立七戸高等学校  
青森県立黒石高等学校  
青森県立木造高等学校  
五所川原第一高等学校  
五所川原商業高等学校



## 【津軽弁】

全国のみんな元気にしてらが？青森県の億プロば、ほがの人とけっばって成功させて一なって思ったらはんで。青森県の魅力ば全国さ発信して、青森県のことばもっと知ってもらうべし!!

## 【標準語】

全国のみなさん、こんにちは！青森県の億プロを他校と協力して成功させたいと思います。青森県の魅力を全国へ発信し、青森県のことを知ってもらいたいです!!



有限会社 弘前こぎん研究所



八戸酒造株式会社

## 津軽鉄道乗車券 左上段

～本州最北の民鉄があなたと旅をする～

津軽鉄道は、90年前からこの地を走り続け、津鉄と呼ばれ地域に愛されている鉄道です。ストーブの温もりと津軽弁が飛び交う車内は、和気あいあいと旅の特別な時間が流れます。昔懐かしい硬券切符を手にストーブ列車と津軽を旅しませんか？



Select gift

## こぎん刺し ～挟んで使おう。栞～ 下段左

「こぎん刺し」は、昔から親しまれている青森県の伝統工芸品です。バックや小銭入れなどたくさんある商品の中から今回は「栞」を選びました。美しい幾何学模様の総刺しは本を読む際に、新しい彩りを与えてくれるでしょう！

## 酒粕バスボム ～「かせんこ」おすすめ！ 八仙美人の湯～ 下段右

第7回新東北みやげコンテスト優秀賞! 青森県産米から作られる名酒「八仙」の酒粕、岩手県野村の「粗塩」、宮城県登米の「生姜」等東北の天然素材にこだわったお肌に優しいバスボム。旅の疲れを癒やす贅沢なバスタイムを演出します。

## School introduction



青森県立木造高等学校【ガシャモクチーム】



五所川原商業高等学校【商業クラブ】



五所川原第一高等学校【五一高じゃわめぎ隊】



青森県立青森中央高等学校【あすなるクラブ】



青森県立黒石高等学校【情報デザイン科】

左上段) 青森県立鰯ヶ沢高等学校【鰯ヶ沢高校 SBP 研究会】  
左下段) 青森県立十和田西高等学校【十西！観光科！！】

左中段) 青森県立七戸高等学校【シャキコ口班】



## 億プロへの意気込み

今回、青森県が用意した3品を青森中央高校がイラストを添え、プチギフトセットとしてまとめました。

## message

### 【県教育委員会教育長 応援メッセージ】

青森県教育委員会教育長の和嶋延寿です。全国高校生1億円プロジェクト事業が、昨年度に引き続き鰯ヶ沢高等学校が幹事校となり、全国から16校の参加をいただき取り組まれることを大変嬉しく思っております。高校生の皆さんが、郷土に対する理解を深め、地域の発展に貢献しようとする意欲を向上させ、創造力を発揮し、全国へ情報発信することは、非常に重要な取組です。青森県教育委員会としましても高校生の多様な夢へのチャレンジを応援します。



県教育委員会教育長 和嶋延寿様

### 【協力事業者様 応援メッセージ】

君たちが、SBP活動を通じて、地域に理解を深め、地域の未来を真剣に考えていることを誇らしく思います。コロナ感染症により失った多くのものを、君たち高校生の創造力によって復活させ、更に新たに生み出して欲しい。君たちの力で、アフターコロナの世界が希望に満ち溢れるものになることを願っています。



津軽鉄道株式会社  
代表取締役社長 澤田 長二郎 様



# 福島県 小名浜海星



Select gift



福島県立小名浜海星高等学校

## Hand towel-Natural (株式会社起点)

～ふくしまの元気で、  
みんなが元気に  
なりますように。～

東日本大震災の復興を目的に、生産が始まったオーガニックコットン。その県産の茶綿を利用したハンドタオル。ブランド名【Siome】は、潮目を表して「豊かな故郷の海」「沢山のひととの出会い」「時代の流れをここから変える」の3つの思いが込められています。

- ・海には暖かいところと寒いところがあり、その境目のところが一番魚が集まる故郷の海。
- ・コットンを通じて住民や避難した方々が出会う場所。
- ・東日本大震災を潮目に、日本を変えていこうという願い。

## School introduction



福島県立小名浜海星高等学校 【商業部】



## 【福島弁】

皆さんこんにちは！  
第1回の億プロ すんげえ楽しみなんだっけ。  
あだしたちで盛り上げっぺ。 なんだな。  
オーガニックコットンプロジェクトに参加しているみんなの思いを、全国に届けっぺ！  
小名浜から日本を元気にするべ！

## 【標準語】

皆さんこんにちは！  
第1回目の億プロ、とても楽しみです。  
私たちが盛り上げたいよね。 そうだね。  
オーガニックコットンプロジェクトに参加している皆さんの思いを、全国に届けます。  
小名浜から日本を元気にしましょう。



億プロへの意気込み



message

## 【いわき市長 応援メッセージ】

全国高校生1億円プロジェクトに参加される高校生の皆さん、こんにちは、福島県いわき市長の内田広之です。  
本プロジェクトに参加する小名浜海星高校をはじめ、全国の高校生の挑戦を応援します。私は、全ての分野においてベースになるのが「人づくり」だと考えています。人の可能性には限界がありません。皆さんの若い力を伸ばせば、無限大の力を発揮できます。失敗を恐れず前向きに挑戦し、若い力を伸ばしていきましょう。



いわき市長 内田広之 様

## 【協力事業者様 応援メッセージ】

こんにちは！  
東日本大震災後の福島県浜通りで在来種の茶綿を有機栽培してものづくりまで進める、一般社団法人ふくしまオーガニックコットンプロジェクトです。  
地域課題をビジネスで解決！という「億プロ」の目標に深く共感しています。課題に真正面から向き合うことで、新たな未来が描き出せる…そんな体験をご一緒できれば素敵ですね！



ふくしまオーガニック+コットンプロジェクト 代表理事 吉田 恵美子 様



# 愛知県



# 高浜高校SBP部 タツヲ焼



愛知県立高浜高等学校

## 絞りまんまる巾着

(特定非営利活動法人ひょうたんカフェ)

～伝統技術を次世代に～

鳴海絞りとは愛知県の有松・鳴海地域を中心に生産される絞り染めの織物です。江戸時代に誕生して以降、日本国内の絞り製品の大半を生産しており、1975年に国の伝統工芸品に指定されています。

特定非営利活動法人ひょうたんカフェさんでは、「伝統技術と福祉事業所が関わることを何かしたい」との思いから、約4年前に鳴海絞りを始めました。鳴海絞りの職人さんから直接指導を受け、絞り～ず（絞りを作っている利用者さん）なりの表現でかたちにしていきます。ひょうたんカフェで作っている絞りは、世界にひとつしかない一点物です。そんな作品を日々の生活に取り入れてみるのはいかがでしょうか。お気に入りのものを入れて持ち運んだり、お菓子を入れたり用途は様々ですが、商品ができあがるまでのストーリーを感じながら、人生という旅のお供になると良いなと思います。

Select gift



## School introduction



愛知県立高浜高等学校【地域活動部 SBP 班】



### 【三河弁】

私たちは、この6年間でようけの学校と「Sの絆焼き」でつながって来たじゃん。だもんで今回、その学校のみならずイベントができるのを楽しみにしてるよ。これをきっかけにまだつなごらん学校も「Sの絆焼き」でつながるまい！

### 【標準語】

私たちは、この6年間でたくさんの学校と「Sの絆焼き」でつながって来ました。だから今回、その学校のみならずイベントができるのを楽しみにしています。これをきっかけにまだつなごっていない学校も「Sの絆焼き」でつながりましょう！



億プロへの意気込み

## message

### 【高浜市長 応援メッセージ】

高浜高校地域活動部SBP班のみなさんが、地域、企業、行政を繋げ、高校生を中心としたあたたかい輪を創出しています。また、高浜市だけでなく、全国の高校生のみなさんと一緒に笑顔になることを目指している姿が、とても嬉しく誇りに思います。高校生のみなさんには、SBP活動を通じ、人と繋がることの幸せ、誰かに必要とされることの喜びを感じ、多くのみなさんと一緒に笑顔になっていただくことを願っています。高浜市キャッチフレーズ「思いやり支えあい 手と手をつなぐ大家族たかはま」のように、これからも高浜高等学校地域活動部SBP班、そして、全国の高校生のみなさんが家族のように繋がることを応援します。



高浜市長 吉岡初浩様

### 【学校長 応援メッセージ】

地域活動部SBP班によるSの絆焼きの活動が、愛知県内だけでなく県外にも波及し、多くの高校生との繋がりが広がっていることを嬉しく思います。この機会に、これまで製作したSの絆焼きが集まり、繋がりを再確認できることを期待しています！コロナ禍で大変な時期ですが、皆さんで力を合わせ乗り越えていきましょう！

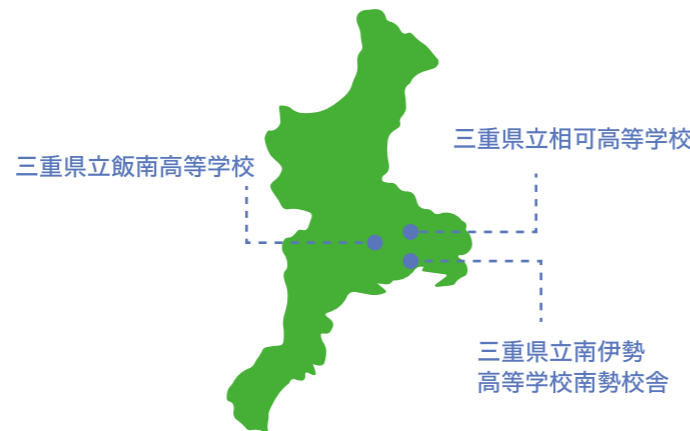


高浜高校 校長 山崎博司様



# 三重県

Select gift



## みず 五十鈴川 (株式会社伊勢福) ～伊勢路の風景「五十鈴川」～

この商品は、神宮神域を流れる清流「五十鈴川」をイメージして作られており、伊勢路の風景を思い起こさせる、爽やかで清らかな香りが特徴です。「五十鈴川みず」は、おかげ横丁 かつろぎやで一番人気のある商品で、長年に渡り愛用されているお客様もいらっしゃるそうです。1箱30本入っており、燃焼時間は1本約15分です。是非皆さんも伊勢市にある「おかげ横丁 かつろぎや」を検索してください。

## 伊勢のみそぎ湯 (リラクゼーション Jiraku) ～旅には必ず右手に「伊勢みそぎ湯」を!!～

入浴剤といえば「みそぎ湯」。人々から愛される伊勢。疲労回復・健康維持・リハビリテーション…、様々な効果が得られます。天然素材を使っており、ミネラル成分が豊富、プリンのようなめらかな湯ざわりです。

旅には必ず右手に「伊勢のみそぎ湯」を!!



School introduction

左上段) 三重県立相可高等学校【食物調理科 調理クラブ】 右下段) 三重県立南伊勢高等学校南勢校舎【南伊勢高校南勢校舎 SBP】  
左下段) 三重県立飯南高等学校【応援団 Circle】

### 【三重弁】

こんにちは！去年はコロナで億プロが開催できやなかったけど、今年は開催できるから全国の高校生みんなと一緒に億プロが成功できるように頑張るや！！三重県には全国に誇れる食べ物とか特産品がいっぱいあるから、みんなも三重県に遊びに来てな！

### 【標準語】

こんにちは！去年はコロナで億プロが開催できなかったけど、今年は開催できるので全国の高校生と一緒に億プロが成功できるように頑張ろう！！三重県には全国に誇れる食べ物とか特産品がいっぱいあるから、みんなも三重県に遊びに来てください！

## 億プロへの意気込み

Message

### 【松阪市長 応援メッセージ】

飯南高校応援団 Circle のみなさんが選んだ、県内企業の商品が、全国の人の目にふれ、三重県の魅力を知り、ぜひ行ってみたいと「旅」につながれば、この地域は一層元気になります。みなさんが参加している「1億円プロジェクト」が成功するように応援しています。頑張ってください。



松阪市長 竹上真人 様

### 【三重県多気町長 応援メッセージ】

相可高校の皆さんのがんばりは、いつも町に元気と勇気を与えてくれており、町民を笑顔にしてくれています。本当にありがとうございます。この機会に、全国の仲間との交流を深め、刺激し合い、互いに高め合ってくれることを大いに期待しています。皆さんはまちの未来です。多気町はいつも皆さんを見守り、全力で応援させていただきます。これからも皆さんのご活躍を楽しみにしています。がんばれ！相可高校！！

### 【南伊勢町長 応援メッセージ】

地域の課題をビジネス手法で解決し、地域の可能性を広げていく SBP の取組みが全国に広がり、この度、「全国高校生1億円プロジェクト」に取り組まれることはとても素晴らしい嬉しく思います。

高校生のみなさんが、この取り組みを通じて地域の人・自然・食に関心を持ち、高校生の目線で地域の課題を解決して行けるように全面的に南伊勢町長として応援をしていくので、高校生のみなさんも力いっぱい取り組んで下さい。

### 【協力事業者様 応援メッセージ】

高校生の皆さん、こんにちは。おかげ横丁を運営管理している株式会社伊勢福です。おかげ横丁は、三重の味、産物、歴史、風習、文化、祭りなど、この地域の様々な魅力を通じて、全国からお越しになる参拝客をおもてなしする町です。三重は東西南北で文化も様々、各地には素晴らしい魅力がたくさんありますので、この活動を通して、自分達の育ったまちの魅力を知り、あらためて地元への愛着と誇りを実感していただきたいと思います。

皆さんの若い力で地域を、日本を、未来を元気にしてください！

おかげ横丁は皆さんを応援しています！

株式会社 伊勢福代表取締役 社長 玉村和敏 様

### 【協力事業者様 応援メッセージ】

こんにちは。LIBAL 伊勢 (リラクゼーションジラク) です。古来より、お伊勢参りの前には「みそぎ湯」として、湯水で身を清めてから参拝することが習わしでした。原料には、伊勢神宮にも奉納されている希少な海藻 (サガラメ) や豊潤な香り知られる伊勢茶を使用しています。「伊勢のみそぎ湯」で、心のふるさと「伊勢」を感じつつ、今回のテーマである「旅」の疲れや、日々の悩みまでをさっぱりと洗い流してほしいです。

LIBAL 伊勢 (リラクゼーションジラク) 代表 濱口益紀 様



三重県多気町長 久保行央 様

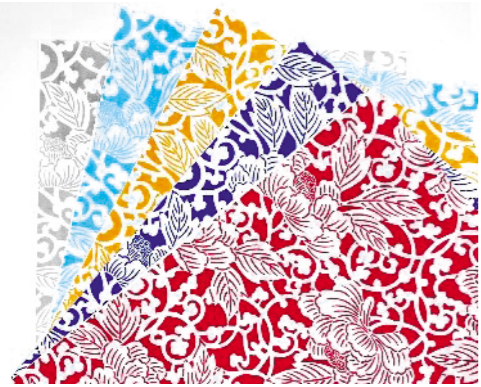


南伊勢町長 上村久仁 様



参加校：熊本県立天草拓心高等学校

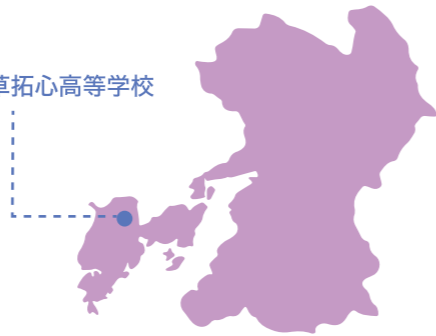
# 熊本県



熊本県立天草拓心高等学校



Select gift



天草更紗 ふきん (天草更紗染元 野のや) 左上段

きじ馬箸置き (宮原工芸) 左写真

人々を結ぶ食卓セット  
～職人の技や想いを後世へつなぐ  
新たな歴史のはじまり～

1つ目は、私達の地元天草の伝統的な布、【天草更紗】です。

天草更紗は、貿易が活発だった時代にヨーロッパ人によって伝えられた模様布のことです。伝統は長く続きませんが、野のやさんに「平成の天草更紗」として、復活を果たした伝統的な布です。この地に暮らし、抱かれ生まれた色や形を染あらわしてあります。

2つ目は、人吉市の郷土玩具【きじ馬の箸置き】です。きじ馬は、800年以上前に作り始めたと言われてます。こどもの健やかな成長を願う縁起物として親しまれています。

きじ馬の生産地 人吉市では、令和2年7月豪雨にみまわれ、大きな被害を受けましたが、復興により、活気あふれる街並みを取り戻しつつあります。人吉市の復興に少しでも協力できたらと思います。

私たちは食から旅を感じてもらおうと思い、天草更紗のふきんときじ馬の箸置きを選びました。いつもの食卓にこのセットを加え、もっと楽しく明るい食事にしましょう！



School introduction



天草拓心高等学校【天草拓心高校 SBP部】



## 【熊本弁】

どがんしとらすかな！おいたちやこれまでSBP っちゅう活動ばしてあまりん焼きちゅうくわしばこしらえて、人にこうてもろうたり、天変地異ん起こったときん非常食ば売ってきたとばってん、そがん活動ばしよっておもうつが、熊本んこつばかしじゃのうして日本全国ん復興んこつも考ええんばつまらんちゅうことやったたい。だけん、力ば合わせて 復興ん輪ば日本中に広めて行きまっしょ。こん億プロがよかきかけんごつなって他ん氏たちにも熊本んよかところば知ってまろうたり新しかこつば見つけちもらおごったとです。

## 【標準語】

こんにちは！私たちはSBPの活動であまりん焼きの製造販売と非常食の販売を行ってきました。これまでの活動を通して、熊本だけでなく、日本全国の復興を願うようになりました。皆さん、共に復興の輪を全国へ広げていきましょう！この億プロを機に、皆さんが熊本の魅力を感じ、新たな発見をして頂きたいです。



億プロへの意気込み



## 【天草市長 応援メッセージ】

昨年、当市の天草拓心高校は南伊勢高校の皆さんと共同して取り組んだ、防災用非常食の開発で文部科学大臣賞を見事受賞されました。受賞の決め手は、「この商品はあまり食べてもらう機会がない方がいいのです。」というプレゼンだったと聞いて、胸が熱くなりこみあげてくるものを感じたことを覚えています。災害の無い町に、日本になることが私たちの願いという言葉に、SBP部の皆さんの明るい未来を確信したのと同時に、後輩達にもこの活動を繋いでもらいたいと思いを強くしました。この思いが日本中に広がりますように！

message



天草市長 馬場 昭治 様

## 【事業者 応援メッセージ】

### 【天草更紗 ふきん】

桃山時代に西欧人が舶載してきた渡り更紗。江戸時代から消滅・復興を繰り返し、昭和中頃に途絶えた天草更紗。復興を依頼され20年「平成天草更紗」も生まれ伝統を大切にしながら挑戦を続けている日々です。拓心高校 SBP部の皆さんの取り組みが地域のひいては日本の力となることを応援しています！

天草更紗染元 野のや (天草市佐伊津) 様



### 【きじ馬の箸置き】

昔、檀の浦の戦いに敗れた平家の一族が子ども達の玩具として作り、都の培われた芸道に目覚め、きじ馬に生かされ絵付けは雉子(キジ)の優雅さを箸置きに描き、現代に伝承する優れた民芸品として今に作り継がれています。

この度「SBPで未来を元気に！」を目的に活動を知り、セレクトギフトの商品に選んで頂きありがとうございます。これからも増々、全国に広がり活躍祈っております。頑張ってくださいね。



伝承蔵 宮原工芸 (人吉市中林) 様



## 活動の記録



青森県教育委員会教育長への取組紹介



教育長訪問後のニュース映像



津軽鉄道とのコラボ商品の打ち合わせ（鱒ヶ沢高校）



いわき市長訪問（小名浜海星高校）



天草市長訪問（天草拓心高校）



ギフト商品の検討（南伊勢高校南勢校舎）



普段の web 会議の様子



黒石高校よりのぼり旗デザインの提案  
（多数決で D 案が採択）

## 編集後記

今回のパンフレットデザインの制作は、青森県立黒石高等学校情報デザイン科の生徒にて担当しました。表紙・裏表紙については、校内で選定された5案を億プロweb会議にてプレゼンテーションを行い、他の生徒との協議の結果選ばれたデザインが採用されています。ここでは主に制作を担当した生徒3名の感想と、採用されなかった残りの4案を紹介します。



齊藤 沙那

今回、私たちは「第1回全国高校生1億円プロジェクト」パンフレットの道県紙面を担当させていただきました。パンフレットを制作するのは今回で2回目、昨年に引き続きレイアウトや写真の使い方に悩んだこともありましたが、納得のいく作品に仕上がったので良かったと思います。2年間のこの活動は、自分にとってとても有意義で貴重な体験になりました。私たちがこの活動に関わるのは今年が最後ですが、来年以降は後輩がこの活動を盛り上げてくれるのを期待しています。



栗林 莉奈

私は億プロに参加することは2年目ですが、WEB会議でパンフレットの表紙を決めるプレゼンは、うまく伝えることができるのかとドキドキしました。ですが、億プロに参加してから自分の意見を言えることが増えました。今年は画面越しだけでなく、直接みんなに会えることが嬉しいです。この活動は、とても自分のためになったと思います。ですから、パンフレットを手にとってくれた高校生の皆さんには、ぜひこの活動に参加してほしいなと思いました。貴重な経験をありがとうございました。億プロだいすき♡♡♡



小山 愛依

私たちは、パンフレットの表紙を一生懸命制作しました。採用されませんでしたが、今回のテーマである「旅」を全力で表現することはできたのかなと思います。第0回の際は開催されず悔しい思いをしました。今年は現地開催があることに喜びを感じています。この億プロという活動をより多くの人に知っていただくために、私たちはこの1億円プロジェクトという活動を応援しています。

### 今回採用されなかった4案の紹介



参加している県の有名な特産物を真ん中に配置して、背景の青色は綺麗な空をイメージして、下にある図形は、雲をイメージして制作した。



高校生が見つめている先は旅行か、未来への希望か、それぞれ想像させる構図にした。麦わら帽子は、億プロが8月に開催だということで季節感を合わせてみた。服は、制服をシンプルに仕上げた。全体的に主体である高校生が映るようにした。



山の星空を背景にして、女子高校生と男子高校生の青春の旅に出発する感じにした。

夏の夜空にしたくて、夏の大きな星座や星を入れた。昨年は五所川原に全員集合できず終わってしまったから、今年は会えるということを願っているという意味も込められている。



テーマが旅で、夏ということもあり背景を海にした。女の子にすることで、青春、清楚感が出ると思う。制服をセーラー服の夏服にした。女の子のボーリングに大きく動きをつけて元気な感じにした。また、TRAVELと書いた旗、キャリーバックを持たせることでより旅行感を演出させることができた。